

官
佛
法
律
書
刑
法

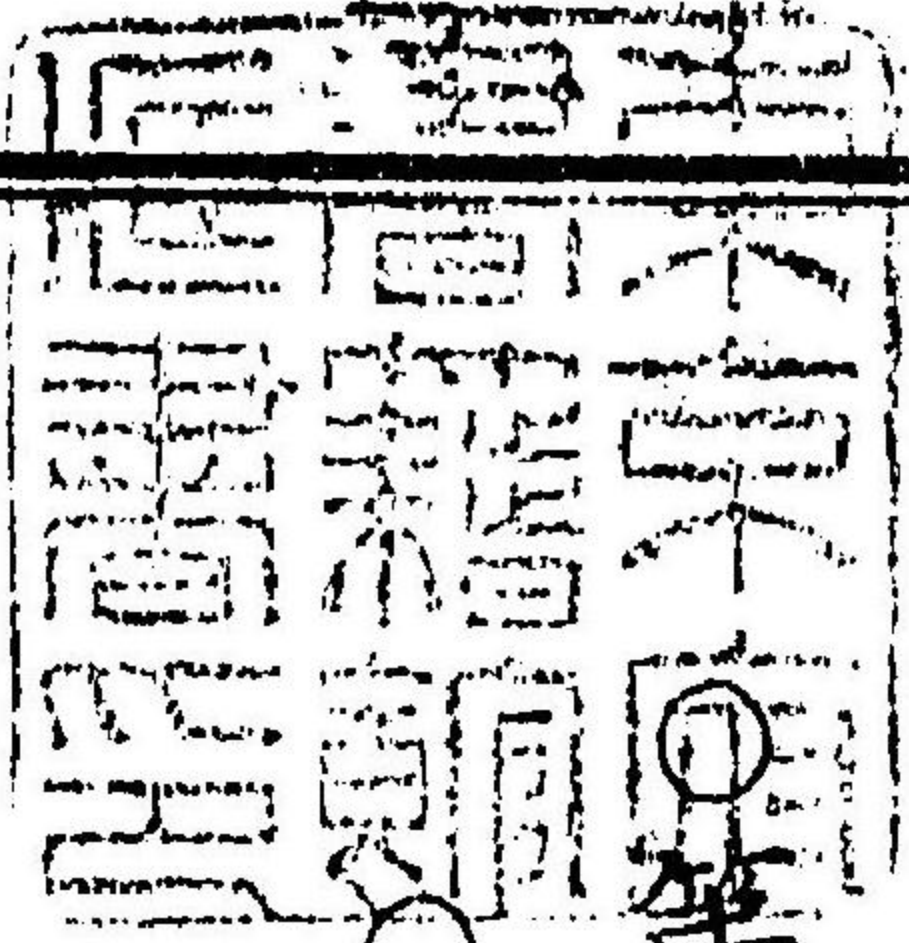
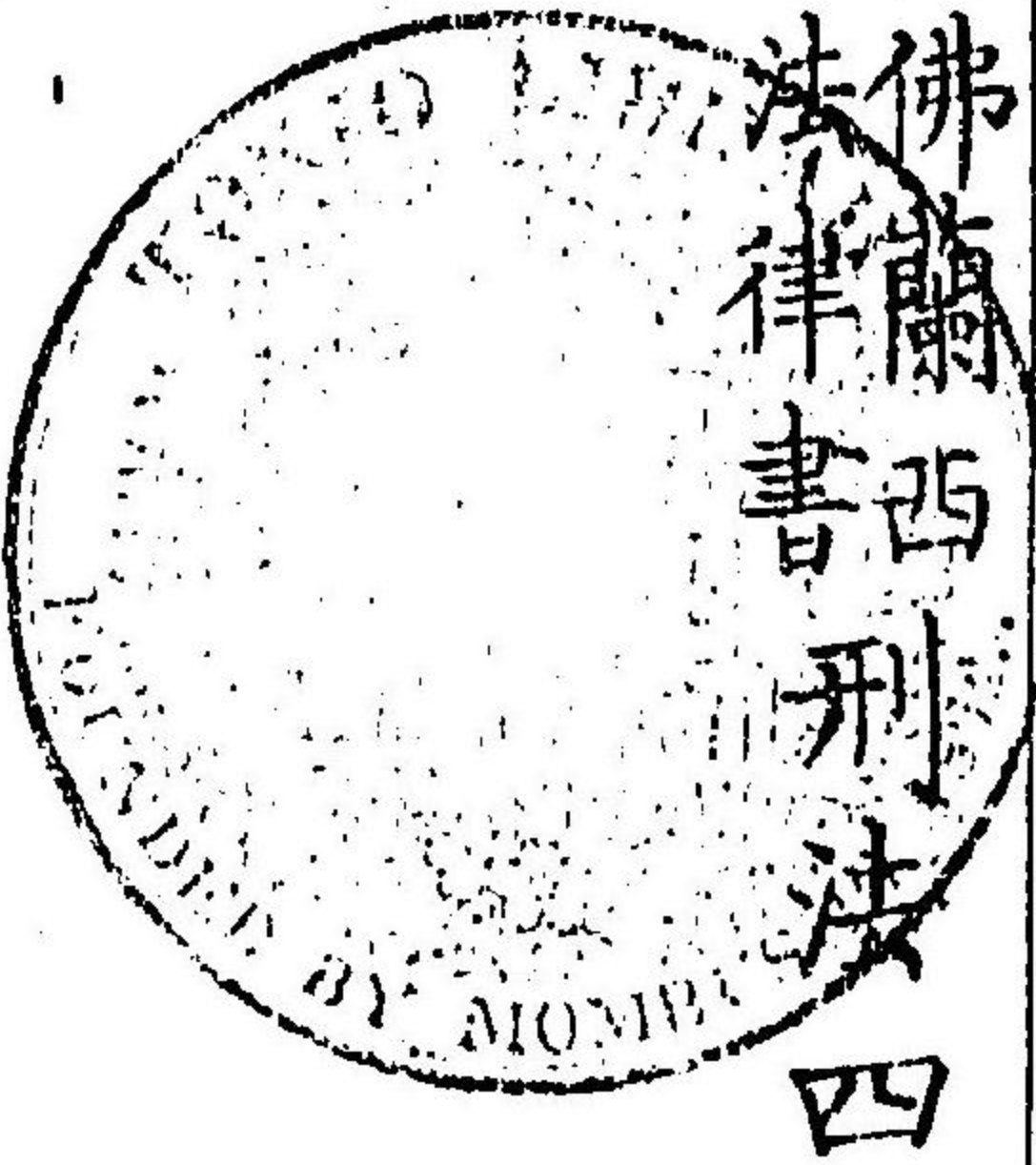
四

CF2
3
07

一
四
二
共
五
本

館 書 圖 京 東	
面 四 -	門 新
架 -	部 - -
號 一 九 四	類

CF2
3
07



明治二十年文部省交付

中博士箕作麟祥口譯

○第二卷 平民ニ對シテノ重罪及ヒ輕罪

○第一章 人ニ對シタル重罪及ヒ輕罪

千八百十年第二月十七日決定同月廿七日布告

○第一款 人ヲ殺スノ罪其他死刑ニ

處ス可キ罪人ニ對シ暴行ヲ加ヘ

ント脅迫スル罪

佛蘭西刑法

第壹篇第壹章第壹款第壹節

大體

○第一節 人ヲ殺ス事、陰殺、尊屬ノ親ヲ殺ス事、子ヲ殺ス事、毒殺スル事

第二百九十五條 故意ヲ以テ人ヲ殺サント為シ殺シタルヲ人ヲ殺スノ罪ト云

第二百九十六條 預メ人ニ害ヲ加ヘント謀リ及ヒ人ノ来ルヲ待チ害ヲ加ヘント為シ之ヲ殺シタル罪ヲ陰殺ノ罪ト云

第二百九十七條 預メ人ニ害ヲ加ヘント謀リタルトハ害ヲ加フル前ニ於テ其害ヲ加フ可

キ事ヲ預定セシ人又ハ相會ス可キ人等ノ身體ヘ對シ害ヲ加ヘント謀ルヲ云但シ時ノ景況ニ因テ其企ヲ生シタル時ト雖モ亦之ニ均シトス

第二百九十八條 人ノ来ルヲ待チ害ヲ加ヘント為ストハ或ル地ニ於テ或ル時間害ヲ加フ可キ人ノ来ルヲ待チ之ヲ殺サント為シ又ハ其人ニ對シ暴行ヲ加ヘント為スヲ云

第二百九十九條 尊屬ノ親ヲ殺スノ罪トハ宗系高曾祖父母ヨリ元曾ノ父母又ハ庶父母養孫ニ至ルル系ヲ云

父母及、其他宗系ノ尊屬ノ親等ヲ殺スヲ云
第三百條 子ヲ殺スノ罪トハ初生ノ子ヲ殺ス
ヲ云

第三百一條 毒殺ノ罪トハ毒物ヲ用ヒタル方
法及ヒ效驗等ヲ問ハス多少ノ時間ニ於テ人
ヲ殺ス可キ物ヲ用ヒ人ノ性命ヲ害スルヲ云
第三百二條 陰殺ノ罪、尊屬ノ親ヲ殺スノ罪、子
ヲ殺スノ罪、毒殺ノ罪等ヲ犯セシ者ハ死刑ニ
處セラル可シ但シ此規則ト第十三條ニ記シ
タル尊屬ノ親ヲ殺スノ罪犯ヲ刑スルノ規則

ト相抵觸スル事ナカル可シ

第三百三條 何レノ名稱ノ者ト雖比重罪犯ヲ
行フニ於テ人ヲ痛苦セシメタル行兇者及ヒ
残忍ノ所行ヲ為シタル行兇者等ハ陰殺ノ罪
アリトシテ刑ス可シ

第三百四條 人ヲ殺スノ罪ヲ他ノ罪犯ニ先チ
又ハ同時又ハ相繼テ犯ス時ハ死刑ニ處ス可
シ

一箇ノ罪犯ヲ行フ者ノ為メ其設備ヲ為シ及
ヒ其罪犯ヲ容易ナラシム又ハ其罪犯ヲ行ハ

ント為シ或ハ其罪犯ノ首謀附從等ノ逃込ヲ助ケ及ヒ其刑ヲ免レシム可キ等ノ目的ヲ以テ人ヲ殺シタル時ハ前文ニ均シク死刑ニ處ス可シ

總テ其他ノ場合ニ於テ人ヲ殺シタル者ハ無期ノ徒刑ニ處セララル可シ

○第二節 脅迫ノ罪

第三百五條

千八百六十三年第五月十三日如左換フ

匿名ノ書類

及ヒ記名ノ書類等ヲ以テ人ヲ陰殺シ及ヒ毒殺シ又ハ死刑無期ノ徒刑流刑等ニ抵ル可キ

暴行ヲ以テ人ニ加ヘント脅迫シタル者ノ已ノ指示セシ場所ニ金額ヲ輸送ス可キノ強令及ヒ其他契約ヲ行フ可キノ強令等ヲ用ヒ人ヲ脅迫シタル時ハ二年ヨリ少カラス五年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且百五十フランクヨリ少カラス千フランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ且其犯人ハ其刑ニ處セラレシ日ヨリシテ五年ヨリ少カラス十年ヨリ多カラサル時間第四十二條ニ記シタル民權ヲ行フノ禁ヲ受ク

可シ

又其犯人ハ其刑ニ處セラレシ日ヨリシテ五年ヨリ少カラス十年ヨリ多カラサル時間政府ノ監察ヲ受ク可シ

第三百六條

千八百六十三年第五月十三日如左換フ

若シ其脅迫

ニ附加シテ強令及ヒ契約等ヲ行ハサル時ハ其犯人ニ於テ一年ヨリ少カラス三年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且百フランクヨリ少カラス六百フランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ

此場合ニ於テ其犯人ハ亦前條ニ記スル所ノ如ク政府ノ監察ヲ受ク可シ

第三百七條

千八百六十三年第五月十三日如左換フ

若シ言詞ヲ

用ヒテ前條ニ記載シタル脅迫ヲ為シ且其脅迫ニ附加シテ強令及ヒ契約等ヲ為シタル時ハ其犯人ニ於テ六月ヨリ少カラス二年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且二十五フランクヨリ少カラス三百フランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ
此場合ニ於テ其犯人ハ亦前條ニ記スル所ノ

如ク政府ノ監察ヲ受ク可シ

第三百八條

千八百六十三年第五
月十三日如左換フ

言詞及ヒ文

書等ヲ以テ第三百五條ニ記載セシ以外ノ暴
行ヲ加ヘント脅迫シ且其脅迫ニ附加シテ強
令及ヒ契約等ヲ為シタル者ハ六日ヨリ少カ
ラス三月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處
セラレ且十六フランクヨリ少カラス百フラ
ンクヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ケ又ハ
其刑中ノ一箇ノミニ處セララル可シ

○第二款

人ヲ殺スノ罪犯ト稱ス可

ラサル故意ヲ以テ為タル創傷毆
撃及ヒ其他故意ヲ以テ為タル重

輕罪

第三百九條

千八百六十三年第五
月十三日如左換フ 故意ヲ以テ

人ヲ創傷シ又ハ毆撃シ及ヒ人ニ對シテ其他
ノ暴行ヲ加ヘタル者ノ其暴行ヲ受ケシ者ヲ
シテ其暴行ノ為メ二十日以上ノ時間病ニ罹
リ或ハ職業ヲ營スルヲ能ハサル等ニ至ラシ
メシ時ハ其犯人ニ於テ二年ヨリ少カラス五
年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ

且十六「フラン」クヨリ少カラス二千「フラン」ク
 ヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ
 且其犯人ハ其刑ヲ受ケシ日ヨリシテ五年ヨ
 リ少カラス十年ヨリ多カラサル時間第四十
 二條ニ記シタル民權ヲ行フノ禁ヲ受ク可シ
 前文ニ記シタル暴行ヲ受ケシ者ヲシテ廢疾
 ニ至ラシメ及ヒ鬻治ノ為メ截斷ヲ受ケシメ
 其他四支ヲ使用スル「能」ハサラシメ兩眼ヲ
 失ハシメ一眼ヲ失ハシメ或ハ他ノ痼疾ニ至
 ラシムル等ノ時ハ其犯人ニ於テ徒刑場内ニ

於テ驅役スル刑ニ處セララル可シ

若シ殺スノ意ナク故意ヲ以テ毆傷シ其毆傷
 ヲ受ケシ者ノ死ニ至リシ時ハ其犯人ニ於テ

有期ノ徒刑ニ處セララル可シ

第三百十條

千八百六十三年第五
 月十三日如左換フ 若シ預定シ

タル謀計ヲ用ヒ又ハ人ノ來ルヲ待テ人ヲ創
 傷及ヒ毆撃シ又ハ其他ノ暴行ヲ加ヘタルニ
 因リ其創傷、毆撃及ヒ暴行等ヲ受ケシ者ノ死
 ニ至リシ時ハ其犯人ニ於テ無期ノ徒刑ニ處
 セラル可シ若シ其暴行ヲ受ケシ者ヲシテ廢

疾ニ至ラシメ及ヒ醫治ノ為メ截斷ヲ受ケシ
 メ其他四支ヲ使用スル一能ハサラシメ兩眼
 ヲ失ハシメ一眼ヲ失ハシメ或ハ他ノ痼疾ニ
 至ラシムル等ノ時ハ其犯人ニ於テ有期ノ徒
 刑ニ處セラル可シ又第三百九條ノ首項ニ記
 シタル場合ニ於テハ其犯人ニ於テ徒刑場内
 ニ於テ驅役スル刑ニ處セラル可シ
 第三百十一條 千八百六十三年第五
 月十三日如左換フ 人ヲ創傷
 及ヒ毆撃シ又ハ其他ノ暴行ヲ人ニ對シテ加
 フルト雖モ其暴行ヲ受ケシ者ニ於テ第三百

九條ニ記シタル種類ノ病ニ罹リ及ヒ職業ヲ
 營スル一能ハサル等ニ至ラサル時ハ其犯人
 ニ於テ六月ヨリ少カラス二年ヨリ多カラサ
 ル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且十六フランク
 ヨリ少カラス二百¹フランクヨリ多カラサル
 罰金ノ言渡ヲ受ケ又ハ其刑中ノ一箇ノミニ
 處セララル可シ
 若シ前文ニ記スル所ノ罪犯ヲ預定ノ謀計ヲ
 用ヒ又ハ人ノ来ルヲ待チ行ヒシ時ハ其犯人
 ニ於テ二年ヨリ少カラス五年ヨリ多カラサ

ル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且五十「フランク」ヨリ少カラス五百「フランク」ヨリ多カラサル
罰金ノ言渡ヲ受ク可シ

第三百十二條

千八百六十三年第五
月十三日如左換フ故意ヲ以

テ宗系ノ父母又ハ庶父母養父母及ヒ其他宗
系ノ尊屬ノ親等ヲ創傷シ又ハ毆撃シタル者
ハ左ノ刑ニ處セララル可シ

若シ其創傷及ヒ毆撃等ヲ受ケシ者ニ於テ第
三百九條ニ記シタル種類ノ病ニ罹リ及ヒ職
業ヲ營スル「能ハサル等」ニ至ラサル時ハ其

犯人ニ於テ徒刑場内ニ於テ驅役スル刑ニ處
セララルヘシ

若シ其創傷及ヒ毆撃等ヲ受ケシ者ニ於テ二
十日以上ノ時間其職業ヲ營スル「能ハサル」
ニ至リシ時又ハ其犯人ノ預定ノ謀計ヲ用ヒ
及ヒ入ノ來ルヲ待チ創傷毆撃等ヲ加ヘタル
時等ハ其犯人ニ於テ至重ノ徒刑場内ニ於テ
驅役スル刑ニ處セララル可シ
若シ他人ニ對シ行フタル犯ニ於テハ徒刑場
内ニ於テ驅役スル刑ヲ受ク可キ罪ヲ前文ニ

記シタル父母及ヒ其他ノ宗系ノ尊屬ノ親等ニ對シ犯シタル時ハ有期ノ徒刑ニ處セラレ可シ

若シ他人ニ對シ行フタル犯ニ於テハ有期ノ徒刑ヲ受ク可キ罪ヲ前文ニ記シタル父母及ヒ其他ノ宗系ノ尊屬ノ親等ニ對シ犯シタル時ハ無期ノ徒刑ニ處セラレ可シ

第三百十三條 此一款及ヒ前款等ニ開載シタル重罪及ヒ輕罪等ヲ犯スノ時ニ於テ政府ノ命ニ抗スル集會ヲ為シ且其事ニ附加シテ掠

奪ヲ行ヒシ時ハ其集會及ヒ掠奪等ノ首謀及ヒ其挑唆ヲ為タル者等ニ其重罪及ヒ輕罪ヲ被ラシメ各自ノ其罪ヲ犯シタル羣衆中ノ者ト同刑ニ處セラレ可シ

第三百十四條

スチイレ

極メテ小形ナト口

ンブロン極メテ小形ナ一種及ヒ其他法律又ハ官

署ノ規則等ニ於テ禁止シタル兵器類等ヲ製造セシ者或ハ販賣シタル者等ハ六日ヨリ少カラス六月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレヘシ

此等ノ兵器ヲ弄セシ者ハ十六フランクヨリ少カラスニ百フランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ
何レノ場合ニ於テモ此等ノ兵器ハ沒收ス可シ

此規則ト前文ニ記シタル罪ヲ犯セシ者ノ他ノ重罪ヲ犯シタル時更ニ重刑ニ處セラルヘキ規則ト相抵觸スル事ナカル可シ

第三百十五條 前條ニ記シタル輕罪ノ刑ノ外裁判所ニ於テ其犯人ヲ二年ヨリ少カラス十

年ヨリ多カラサル時間政府ヨリ監察ヲ為シ送致ス可キノ言渡ヲ為ス可シ

第三百十六條 畢丸ヲ切リタル重罪ヲ犯セシ者ハ無期ノ徒刑ニ處セラル可シ

若シ畢丸ヲ切リシ時ヨリ四十日内ニ於テ其者ノ死スル時ハ其犯人ニ於テ死刑ニ處セラ
ル可シ

第三百十七條 食料、飲料、藥品等ヲ用ヒ又ハ暴行ヲ加ヘ及ヒ其他ノ罪犯ヲ行ヒ墮胎セシメタル者ハ其婦ノ其事ヲ肯スルト否トヲ問ハ

ス徒刑場内ニ於テ驅役スル刑ニ處セラル可
 シ
 自己ノ意ヲ以テ墮胎ヲ為シメタル婦又ハ他
 人ノ示教及ヒ他人ノ用ヒタル方法等ヲ受用
 スルヲ肯シ自ラ墮胎セント欲シ現ニ墮胎
 シタル婦等ハ同上ノ刑ニ處セラル可シ
 墮胎ヲ為スニ要用ナル物品ヲ指示シ又ハ用
 ヒタル内科外科ノ醫官及ヒ海陸軍醫士又ハ
 其藥ヲ販賣シタル者等ニ於テ若現ニ其婦ノ
 墮胎シタル時ハ有期ノ徒刑ニ處セラル可シ

何レノ法方ヲ論セス人ヲ殺スノ質ナク唯人
 ノ健康ヲ害スヘキ質アル物品ヲ故意ヲ以テ
 人ニ用ヒ其人ヲシテ病ニ罹ラシメシ者又ハ
 其職業ヲ營スルヲ能ハサルニ至ラシメシ者
 等ハ一月ヨリ少カラス五年ヨリ多カラサル
 時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且十六フランクヨ
 リ少カラス五百フランクヨリ多カラサル罰
 金ノ言渡ヲ受ケ其上二年ヨリ少カラス十年
 ヨリ多カラサル時間政府ヨリ監察ヲ為シ送
 致ス可シ

若シ其害ヲ受シ者ニ於テ二十日以上ノ時間
 病ニ罹リ又ハ職業ヲ營スルヲ能ハサル等ニ
 至リシ時ハ其犯人ニ於テ徒刑場内ニ於テ驅
 役スル刑ニ處セラル可シ
 若シ其犯人ニ於テ第三百十二條ニ記シタル
 父母及ヒ其他ノ宗系ノ尊屬ノ親等ヘ對シ此
 條ノ四項及ヒ五項等ニ記シタル輕罪及ヒ重
 罪等ヲ犯シタル時ハ其輕罪ノ犯者ニ於テ徒
 刑場内ニ於テ驅役スル刑ニ處セラレ其重罪
 ノ犯者ニ於テ有期ノ徒刑ニ處セラル可シ

第三百十八條

千八百五十五年
五月三日廢入

◎第三款 故意ニ非スシテ人ヲ殺シ

及ヒ創傷、毆擊等ヲ為スノ罪、赦宥
 可キ輕重罪及ヒ赦宥ス可ラサ
 ル輕重罪、重罪トモ輕罪トモ稱ス
 可ラサル人ヲ殺スノ罪及ヒ創傷
 毆擊等ノ罪

○第一節 故意ニ非スシテ人ヲ殺

シ及ヒ創傷、毆擊等ヲ為スノ罪

第三百十九條

疎失、疎虞、懈怠及ヒ規則ヲ遵守

セサル等ノ事ニ因リ故意ニ非スシテ人ヲ殺シ及ヒ人ヲ殺スノ原由ヲ為ス等ノ者ハ三月ヨリ少カラス二年ヨリ多カラサルノ時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且五十フランクヨリ少カラス六百フランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ

第三百二十條

千八百六十三年第五
月十三日如左換フ 疎失又ハ

疎虞等ニ因リ人ヲ創傷シ及ヒ毆撃シタルノミナル時ハ其犯人ニ於テ六日ヨリ少カラス二月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラ

レ且十六フランクヨリ少カラス百フランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡シヲ受ケ又ハ其刑中ノ一箇ノミノ言渡ヲ受ク可シ

○第二節 赦宥ス可キ輕重罪及ヒ赦宥ス可ラサル輕重罪

第三百二十一條

對手ニ於テ邊劇ニ毆撃及ヒ暴

行等ヲ為スニ因リ其者ヲ殺シ又ハ創傷及ヒ毆撃等ヲ為タル時ハ其罪ヲ赦宥ス可シ

第三百二十二條

若シ晝間ニ牆塀及ヒ門戸又ハ人ノ居住スル房室及ヒ其房室ニ屬スル房

舍等ニ攀援シ又ハ之ヲ破壊セント為スヲ防
止シテ前條ニ記セシ輕重罪ヲ犯シタル者ハ
其罪ヲ赦宥ス可シ

若シ夜間ニ此事ヲ為ス時ハ第三百二十九條
ノ規則ニ循フ可シ

第三百二十三條 尊屬ノ親ヲ殺スノ罪ハ決シ
テ赦宥ス可ラス

第三百二十四條 夫ノ其婦ヲ殺シ又ハ婦ノ其
夫ヲ殺スノ罪ハ其罪ヲ犯セシ夫又ハ婦ノ其
性命ノ危迫ニ及ヒ止ムヲ得ズシテ殺シタル

時ノ外赦宥ス可ラス

然ル第三百三十六條ニ記シタル姦通ノ場合
ニ於テ夫ノ其家ニ於テ其婦及ヒ姦夫等ノ現
ニ其罪犯ヲ行フヲ知發シ之ヲ殺シタル時ハ
其罪ヲ赦宥ス可シ

第三百二十五條 猥褻ノ辱ヲ受ルニ因テ即チ
人ノ鞞丸ヲ切リタルノ罪ハ赦宥ス可キ創傷
毆擊ノ罪又ハ赦宥ス可キ人ヲ殺スノ罪ト看
做ス可シ

第三百二十六條 死刑無期ノ徒刑及ヒ流刑等

ニ處ス可キ重罪ノ犯ニ於テ赦宥ス可キ證ノ
 現ハル、時ハ其刑ヲ一年ヨリ少カラス五年
 ヨリ多カラサル時間禁錮スルノ刑ニ減ズ可
 シ
 其他ノ重罪ノ犯ニ於テ赦宥スベキ證ノ現ハ
 ル、時ハ其刑ヲ六月ヨリ少カラス二年ヨリ
 多カラサル時間禁錮スルノ刑ニ減ス可シ
 此二箇ノ場合ニ於テ其犯人ハ五年ヨリ少カ
 ラス十年ヨリ多カラサル時間裁判所ノ命ニ
 因リ政府ノ監察ヲ受ク可シ

若シ輕罪ノ犯ニ於テハ其刑ヲ六月ヨリ少カ
 ラス六月ヨリ多カラサル時間禁錮スルノ刑
 ニ減ス可シ

第三節 重罪トモ輕罪トモ稱ス
 可ラサル人ヲ殺スノ罪及ヒ創
 傷、毆擊等ヲ為スノ罪

第三百二十七條 法律ニ循ヒ又ハ相當ノ威權
 アル者ノ指揮ニ従ヒ人ヲ殺シ或ハ創傷、毆擊
 等ヲ為シタル時ハ重罪トモ輕罪トモ謂フ可
 カラス

第三百二十八條 正理ヲ以テ己ノ身體ヲ防衛シ又ハ他人ノ身體ヲ防衛スル等ノ時ニ當リ己ヲ得スシテ人ヲ殺シ或ハ創傷、毆擊等ヲ為シタル時ハ重罪トモ輕罪トモ謂フ可カラス

第三百二十九條

第一 夜間ニ牆塼門戸又ハ人ノ居住スル房室及ヒ其房室ニ属スル房舎等ニ攀援シ又ハ之ヲ破壊セント為スヲ防止シテ人ヲ殺シ及ヒ創傷、毆擊等ヲ為シタル時

第二 強盜又ハ暴行ヲ以テ為タル掠奪等ヲ防止シテ人ヲ殺シ及ヒ創傷、毆擊等ヲ為シタル時

此等ノ事ヲ為タル者ハ其身體ヲ防衛スル時ニ當リ己ヲ得ズシテ人ヲ殺シ及ヒ創傷、毆擊等ヲ為シタルモノト謂フ可シ

○第四款 風俗ヲ亂ス事

第三百三十條

十一月十三日如左換フ 公然ニ猥

褻ノ所行ヲ為スノ罪ヲ犯セシ者ハ三月ヨリ少カラス二年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑

ニ處セラレ且十六フランクヨリ少カラスニ百フランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ

第三百三十一條

千八百六十三年第五
月十三日如左換フ 男女ヲ

論セス其十三歳以下ノ者ノ身體ニ對シ暴行ヲ加フルニ非スト雖モ猥褻ノ所行ヲナシ又ハ為サントシタル者ハ徒刑場内ニ於テ驅役スル刑ニ處セララル可シ
十三歳以上ト雖モ婚姻ヲ結ビテ未タ後見ヲ免カレサル年少ノ者ノ身體ニ對シ其尊屬ノ

親ニ於テ猥褻ノ所行ヲナシ又ハ為シトシタル者ハ同上ノ刑ニ處セララル可シ

第三百三十二條

強姦ノ罪ヲ犯シタル者ハ有

期ノ徒刑ニ處セララル可シ

若シ全周十五歳以下ノ者ニ對シ強姦ノ罪ヲ犯シタル者ハ至重ノ有期ノ徒刑ニ處セララル可シ

男女ヲ論セス人ニ對シ暴行ヲ以テ猥褻ノ所行ヲナシ及ヒ為ントシタル者ハ徒刑場内ニ於テ驅役スル刑ニ處セララル可シ

若シ全周十五歳以下ノ者ニ對シ此罪ヲ犯シタル者ハ有期ノ徒刑ニ處セラル可シ

第三百三十三條

千八百六十三年第五月十三日如左換フ

若シ尊

屬ノ親ノ卑屬ノ親ニ對シテ其罪ヲ犯シタル者又ハ年少ノ者ノ指令ヲ為ス者ノ年少ノ者ニ對シ其罪ヲ犯シタル者又ハ年少ノ者ノ受業師及ヒ年少ノ者ノ奴僕尊屬ノ親ノ奴僕指令ヲ為ス者ノ奴僕受業師ノ奴僕等ノ年少ノ者ニ對シ其罪ヲ犯シタル者又ハ説教ノ僧徒ノ其罪ヲ犯シタル者及ヒ其他何者ヲ論セス

其罪ヲ犯スニツキ一人又ハ數人ノ助ヲ得タル者等ノ第三百三十一條ノ首項ニ記セシ場合ニ於テハ有期ノ徒刑ニ處セラレ前條ニ記シタル場合ニ於テハ無期ノ徒刑ニ處セララル可シ

第三百三十四條

男女ヲ論セス常ニ二十一歳

以下ノ年少ノ者ノ淫行ヲ誘起シ及ヒ幫助シ又ハ容易ナラシム可キ等ノ事ヲ為シテ風俗ヲ亂サント為タル者ハ六月ヨリ少カラス二年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ

且五十フランクヨリ少カラス五百フランク
 ヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ
 若シ父母又ハ後見人及ヒ其他年少ノ者ヲ照
 管ス可キ任ヲ受ケシ者等ニ於テ其淫行ヲ誘
 起シ及ヒ幫助シ又ハ容易ナラシム可キ等ノ
 事ヲ為タル時ハ其犯人ニ於テ二年ヨリ少カ
 ラス五年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處
 セラレ且三百フランクヨリ少カラス千フラ
 ンクヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ
 第三百三十五條 前條ニ記シタル輕罪ヲ犯セ

シ者ハ後見ノ職及ヒキユラトールノ職等ヲ
 行フノ禁ヲ受ケ且親族ノ會議ニ列班スルノ
 禁ヲ受ク可シ但シ前條ノ首項ニ記シタル罪
 ヲ犯セシ者ハ二年ヨリ少カラス五年ヨリ多
 カラサル時間同上ノ刑ヲ受ケ前條ノ次項ニ
 記シタル罪ヲ犯セシ者ハ十年ヨリ少カラス
 二十年ヨリ多カラサル時間同上ノ刑ヲ受ク
 可シ

若シ父母ノ其罪ヲ犯セシ時ハ民法第一篇第
 九卷父母ノ權ノ部ニ記シタル如ク其子ノ身

體及ヒ財産等ニ對シ行フ可キ權ノ剥奪ヲ受ク可シ

何レノ場合ニ於テモ其犯人ハ此條ニ記シタル後見及ヒ「ギユラトール」等ノ職務及ヒ親族ノ會議ニ列班スルノ權等ヲ行フノ禁ヲ遵守シ且其時間更ニ裁判所ノ命ヲ以テ政府ノ監察ヲ受ク可シ

第三百三十六條 婦ノ姦通ハ其夫ニ非サル者ニ於テ訴訟ヲ為ス可カラズ又第三百三十九條ニ記スル場合ニ於テハ夫ト雖モ其婦ノ姦

通ヲ呈訴スルヲ能ハス

第三百三十七條 姦通ノ證ノ發覺セシ婦ハ三

月ヨリ少カラズ二年ヨリ多カラサル時間禁

錮ノ刑ニ處セラル可シ

夫ニ於テ其姦通セシ婦ヲ再嫁スルヲ肯スル時ハ其刑ヲ停止スル事ヲ得可シ

第三百三十八條 姦夫ハ姦婦ト同期ノ時間禁

錮ノ刑ニ處セラレ且百フランクヨリ少カラ

ス二千フランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡

ヲ受ク可シ

姦通シタルノ證トハ現ニ其罪犯ノ所為ヲ知
業シ又ハ其事ニ管スル犯人ノ書信及ヒ其他
ノ書類等ヲ指シ云

第三百三十九條 夫ノ其家ニ娼婦ヲ蓄ヒ置キ
其婦ノ訴訟ニ因テ其罪ノ證ノ發覺シタル時
ハ其夫ニ於テ百フランクヨリ少カラス二千
フランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク
可シ

第三百四十條 其未タ前婚ヲ解サル中更ニ再
婚及ヒ再婚ノ契約等ヲ為シタル夫又ハ婦ハ

有期ノ徒刑ニ處セララル可シ

未タ前婚ヲ解サル中更ニ再婚ノ約ヲ為タル
時政府ヨリ任ヲ受タル官吏ノ其事ヲ知テ許
セシ者ハ同上ノ刑ニ處セララル可シ

○第五款 法ニ背キテ人ヲ逮捕シ及
ヒ禁錮スル事

第三百四十一條 相當ナル官吏ノ命ナク且法
律ニ循ヒ犯人ヲ逮捕ス可キノ命ナキ場合ニ
於テ何ノ人ヲ論セス逮捕及ヒ禁錮等ヲ為タ
ル者ハ有期ノ徒刑ニ處セララル可シ

其法ニ背キテ人ヲ禁錮スルノ場所ヲ貸與ヘシ者ハ同上ノ刑ニ處セラル可シ

第三百四十二條 若シ一月以上ノ時間法ニ背キテ人ヲ禁錮セシ時ハ其犯人ニ於テ無期ノ徒刑ニ處セラル可シ

第三百四十三條 若シ第三百四十一條ニ記載シタル輕罪ヲ犯セシ者ノ未タ其訴訟ヲ受ケサル中ニ於テ其逮捕及ヒ禁錮等ヲ為タル日ヨリ十日内ニ其逮捕及ヒ禁錮等ヲ為タル者ヲ宥セシ時ハ其犯人ノ刑ヲ二年ヨリ少カラ

ス五年ヨリ多カラサル時間禁錮スルノ刑ニ減ス可シ然レ其犯人ハ五年ヨリ少カラス十年ヨリ多カラサル時間政府ヨリ監察ヲ為シ送致ス可シ

第三百四十四條

- 第一 衣服ヲ濫用シ姓名ヲ詭リ又ハ官署ノ命ヲ偽リテ人ヲ逮捕シタル時
- 第二 逮捕及ヒ禁錮等ヲ受タル者ヲ殺サント脅迫シタル時

此等ノ場合ニ於テ其犯人ハ無期ノ徒刑ニ處

セラル可シ

然レ凡逮捕及ヒ禁錮等ヲ受ケシ者ノ身體ヲシテ痛苦セシメタル時ハ其犯人ニ於テ死刑ニ處セラル可シ

○第六款 小兒ノ民生ノ證ヲ妨ケ及

ヒ其證ヲ遺失セントシ又ハ其性命ヲ害セント為ス重罪及ヒ輕罪
年少ノ者ヲ誘拐スル事墳墓ノ規則ヲ犯ス事

第一節 小兒ヘ對シテ犯シタル

重罪及ヒ輕罪

第三百四十五條

千八百六十三年第五
月十三日如左換フ 小兒ヲ

誘拐シ及ヒ藏窩シ又ハ子ノ出産ヲ隱蔽シテ
カクシ カクス
上告セス又ハ他人ノ子ヲ以テ己ノ子ト交替
シ及ヒ子ヲ擧セサル婦ヘ子ヲ圖賴スル等ノ
カクケル
罪ヲ犯タル者ハ徒刑場内ニ於テ驅役スル刑
ニ處セラル可シ

若シ其子ノ現ニ生存シタル證ノ分明ナラサル時ハ其犯人ニ於テ一月ヨリ少カラス五年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可

シ

若シ其子ノ生存セサルノ確證アル時ハ其犯人ニ於テ六日ヨリ少カラス二月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ
子ヲ受寄セシ者ニ於テ其子ノ交解ヲ求ム可キ權アル者ヨリ求需ヲ受ルト雖^{ヒキワクシ}其交解ヲ肯セサル時ハ徒刑場内ニ於テ驅役スル刑ニ處セラル可シ

第三百四十六條 婦ノ子ヲ産スル事ニ對定セシ者ニ於テ民法第五十六條ニ記載シタル規

則ニ循ヒ民法第五十五條ニ記載シタル延期ノ中ニ其出産ノ事ヲ上告セサル時ハ六日ヨリ少カラス六月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且十六^ラランクヨリ少カラス三百^ラランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ

第三百四十七條 初生ノ棄兒ヲ^ニ遇見シタル者ニ於テ民法ノ第五十八條ニ記載シタル所ノ如ク其兒ヲ民生ノ事ニ管スル官吏へ交解セサル時ハ前條ニ記シタル刑ニ處セラル可シ

其兒ヲ承管ス可キ許諾ヲ為シ其事由ヲ其兒
ヲ遇見セシ地ノ官署へ告知シタル者ハ同上
ノ刑ニ處ス可ラス

第三百四十八條 自己ニ於テ照管又ハ其他ノ
原由等ヲ以テ委任ヲ受ケシ全周七歳以下ノ
兒ヲ貧院へ移送セシ者ハ六週ヨリ少カラス
六月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラ
レ且十六フランクヨリ少カラス五十フラン
クヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ
然レ若シ其者ニ於テ自己ノ費用ヲ用ヒ其子

ノ養育ヲ為ス可キ契約ヲ為サス且他ニ養育
ノ費用ヲ給ス可キ者ナキ時ハ其犯人ヲ刑ニ
處ス可ラス

第三百四十九條 全周七歳以下ノ兒ヲ寡聞ノ
地へ棄シ者及ヒ其兒ヲ棄ツ可キノ命ヲナシ
テ現ニ其命ノ行ハレシ者等ハ此所行ノミヲ
以テ六月ヨリ少カラス二年ヨリ多カラサル
時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且十六フランクヨ
リ少カラス二百フランクヨリ多カラサル罰
金ノ言渡ヲ受ク可シ

第三百五十條 兒ノ後見人及ヒ其受業師等ニ於テ自^カラ其兒ヲ棄テ及ヒ棄ツ可キノ命ヲ為タル者ハ二年ヨリ少カラス五年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且五十「フラン」ヨリ少カラス四百「フラン」ヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ

第三百五十一條 若シ第三百四十九條及ヒ第三百五十條等ニ記載シタル所ノ如ク棄兒ノ事ニツキ其兒ノ身體ヲ創傷シ及ヒ廢疾者ト為タル時ハ其兒ヲ棄シ者ニ於テ故意ヲ以テ

其兒ヲ創傷シタルノ罪アリト為ス可シ若シ又其兒ノ死亡セシ時ハ其兒ヲ棄シ者ニ於テ人ヲ殺スノ罪アリト為ス可シ但シ其棄兒ノ毀傷セシ時ハ其兒ヲ棄シ者ニ於テ故意ヲ以テ人ヲ創傷スルノ刑ニ處セラレ其棄兒ノ死亡セシ時ハ其兒ヲ棄シ者ニ於テ故意ヲ以テ人ヲ殺スノ刑ニ處セラレ可シ

第三百五十二條 全周七歳以下ノ兒ヲ寥闕ナラサル地へ棄シ者ハ三月ヨリ少カラス一年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且

十六フランクヨリ少カラス百フランクヨリ
多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ

第三百五十三條 若シ兇ノ後見人及ヒ其受業
師等ニ於テ前條ニ記シタル輕罪ヲ犯セシ時
ハ六月ヨリ少カラス二年ヨリ多カラサル時
間禁錮ノ刑ニ處セラレ且二十五フランクヨ
リ少カラス二百フランクヨリ多カラサル罰
金ノ言渡ヲ受ク可シ

○第二節 年少ノ者ヲ誘拐スル事
第三百五十四條 詐計又ハ暴行等ヲ以テ年少

ノ者ヲ誘拐シ及ヒ誘拐セシメタル者又ハ年
少ノ者ヲ其指令照管等ヲ為ス者ノ置タル場
所ヨリ他所へ誘出シ及ヒ他所へ出行セシメ
又ハ其誘出及ヒ出行等ヲ為サシメタル者等
ハ徒刑場内ニ於テ驅役スル刑ニ處セラル可
シ

第三百五十五條 若シ全周十六歳以下ノ女ヲ
誘拐シ及ヒ誘出セシ時ハ其犯人ニ於テ有期
ノ徒刑ニ處セラル可シ

第三百五十六條 十六歳以下ノ女ノ自ラ誘拐

ヲ得可キヲ肯シタル時及ヒ自己ノ意ヲ以テ誘拐者ニ隨行セシ時等ニ於テ其誘拐ヲ為ス者ノ二十一歳以上ナル時ハ有期ノ徒刑ニ處セラレ可シ

若シ其誘拐ヲ為タル者ノ二十一歳以下ナル時ハ二年ヨリ少カラス五年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ可シ

第三百五十七條 誘拐者ニ於テ其誘拐シタル女ヲ妻ト為ス時ハ民法ニ循ヒ其婚姻ヲ廢止ス可キノ求ヲ為ス權アル者ヨリ訴訟ヲ為ス

ノ外其誘拐者ヲ裁判ス可カラズ且其婚姻ヲ廢止セシムルノ言渡ヲ為タル後ニ非サレハ其誘拐者ヲ刑ニ處ス可ラス

○第三節 墳墓ノ規則ヲ犯ス事

第三百五十八條 政府ヨリ任ヲ受シ官吏ノ特ニ允許ヲ受ク可キ定則アル場合ニ於テ其允許ヲ得スシテ死者ヲ埋葬セシ者ハ六日ヨリ少カラス二月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且十六フランクヨリ少カラス五十フランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受

ク可シ但シ此規則ト此輕罪ヲ犯シタル者ノ
其時ニ於テ他ノ重罪ヲ犯シタルニツキ更ニ
重刑ヲ受ク可キ規則ト相抵觸スルナカル
可シ
何ノ法方ヲ論セス埋葬ニツキ定メタル定期
ノ法則ニ背キシ者ハ同上ノ刑ニ處セラル可
シ

第三百五十九條 兇殺ニ逢ヒシ者及ヒ創傷毆
擊等ヲ受ケシニ因リ死亡シタル者等ノ死屍
ヲ掩蔽セシ者ハ六月ヨリ少カラス二年ヨリ

多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且五十
フランクヨリ少カラス四百フランクヨリ多
カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ但シ此規則
ト此罪ヲ犯セシ者ノ人ヲ殺シ及ヒ創傷毆擊
等ヲ為タルノ重罪ニ加リシ時更ニ重刑ニ處
セラル可キ規則ト相抵觸スルナカル可シ
第三百六十條 墳墓へ暴行ヲ加ヘシ者ハ三月
ヨリ少カラス一年ヨリ多カラサル時間禁錮
ノ刑ニ處セラレ且十六フランクヨリ少カラ
ス二百フランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡

ヲ受ク可シ但シ此規則ト其犯人ノ此暴行ニ
附加シテ犯シタル輕重罪ニツキ受ク可キ所
ノ刑ト相抵觸スルヲナカル可シ

○第七款 偽證、讒訴、誣害告發

○第一節 偽證

第三百六十一條

千八百六十三年第五
月十三日如左換フ

重罪ノ

事ニツキ被告人ニ對シ害ヲ加フ可キ為メ又
ハ被告人ノ曲庇^{ヒキ}ス可キ為メ偽證ヲ用ヒシ者
ハ徒刑場内ニ於テ驅役スル刑ニ處セラレ可
シ

然ル被告人ニ於テ徒刑場内ニ於テ驅役スル
刑以上ノ刑ニ處セラレシ時ハ其被告人ニ對
シ害ヲ加フ可キ為メ偽證ヲ用ヒシ者ニ於テ
モ亦被告人ノ受ケタル刑ト同刑ニ處セラレ
可シ

第三百六十二條

千八百六十三年第五
月十三日如左換フ

輕罪ノ

事ニツキ被告人ニ對シ害ヲ加フ可キ為メ又
ハ被告人ヲ曲庇ス可キ為メ偽證ヲ用ヒシ者
ハ二年ヨリ少カラス五年ヨリ多カラサル時
間禁錮ノ刑ニ處セラレ且五十^ラランクヨリ

少カラスニ千フランクヨリ多カラサル罰金
 ノ言渡ヲ受ク可シ
 若シ被告人ニ於テ五年以上ノ時間禁錮ノ刑
 ニ處セラレシ時ハ其被告人ニ對シ害ヲ加フ
 可キ為メ偽證ヲ用ヒシ者ニ於テモ亦其被告
 人ノ受タル刑ト同刑ニ處セラル可シ
 註誤ノ罪ニツキ被告人ニ對シ害ヲ加フ可キ
 為メ又ハ被告人ヲ曲庇ス可キ為メ偽證ヲ用
 ヒシ者ハ一年ヨリ少カラス三年ヨリ多カラ
 サル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且十六フラン

クヨリ少カラス五百フランクヨリ多カラサ
 ル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ
 此二箇ノ場合ニ於テ其犯人ハ其刑ヲ受ケシ
 日ヨリシテ五年ヨリ少カラス十年ヨリ多カ
 ラサル時間第四十二條ニ記シタル民權ヲ行
 フノ禁ヲ受ケ且同上ノ期限間政府ノ監察ヲ
 受ク可シ

第三百六十三條

千八百六十三年第五
 月十三日如左換フ 民法ニ

管シタル事ニツキ偽證ヲ用ヒシ犯人ハ二年
 ヨリ少カラス五年ヨリ多カラサル時間禁錮

ノ刑ニ處セラレ且五十フランクヨリ少カラ
ス二千^一フランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡
ヲ受ク可シ但シ其犯人ハ前條ニ記セシ附加
ノ刑ヲ受ク可シ

第三百六十四條

千八百六十三年第五
月十三日如左換フ 重罪ニ

管シタル事ニツキ金銀及ヒ其他ノ謝報等ヲ
受ケシ者及ヒ契約ヲ結ヒテ偽證ヲ用ヒシ者
等ハ有期ノ徒刑ニ處セラル可シ但シ此規則
ト第三百六十一條ノ次項ニ記シタル所ノ刑
ヲ用フル規則ト相抵觸スル^一ナカル可シ

輕罪又ハ民法ニ管シタル事等ニツキ金銀及
ヒ其他ノ謝報等ヲ受ケシ者及ヒ契約ヲ結ヒ
テ偽證ヲ用ヒシ者等ハ徒刑場内ニ於テ驅役
スル刑ニ處セラル可シ

註誤ノ罪ニ管シタル事ニツキ金銀又ハ其他
ノ謝報等ヲ受ケシ者及ヒ契約ヲ結ヒテ偽證
ヲ用ヒシ者等ハ二年ヨリ少カラス五年ヨリ
多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且五十
フランクヨリ少カラス二千^一フランクヨリ多
カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ

且其犯人ハ第三百六十二條ニ記シタル附加ノ刑ヲ受ク可シ

何レノ場合ニ於テモ偽證ヲ用ヒシ者ノ交收セシ品物ハ沒收セララル可シ

第三百六十五條 金銀及ヒ其他ノ謝報等ヲ與ヘシ者及ヒ契約ヲ結ビテ偽證ヲ用ヒシメシ者等ハ其偽證ヲ用ヒシ者ト同刑ニ處セララル可シ但シ其刑ハ第三百六十一條第三百六十二條第三百六十三條第三百六十四條等ニ記シタル區別ニ循フ可シ

第三百六十六條

千八百六十三年第五月十三日如左換フ 民法ニ

△其求ヲ受ケシ者ヨリ
回誓ヲ為ス可キノ求ヲ受ケタル者
等ノ偽リノ誓ヲ為シタル

管シタル事ニツキ誓ヲ為ス可キノ求メヲ受ケタル者又ハ△者ハ一年ヨリ少カラス五年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且百フランクヨリ少カラス三千フランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ
又其犯人ハ其刑ヲ受ケシ日ヨリシテ五年ヨリ少カラス十年ヨリ多カラサル時間第四十二條ニ記シタル民權ヲ行フノ禁ヲ受ケ且同上ノ期限間政府ノ監察ヲ受ク可シ

○第二節 讒訴、誣害、告發

第三百六十七條ヨリ第三百七十二條ニ至ル迄ノ各條ハ廢ス

第三百七十三條 裁判役又ハ政務及ヒ裁判等ノ事ニ管シタル取締役等ニ一人又ハ數人ヲ讒訴スル文書ヲ出セシ者ハ一月ヨリ少カラス一年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且百フランクヨリ少カラス三千フランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ

第三百七十四條及ヒ第三百七十五條ハ廢ス

第三百七十六條 第三百七十三條ニ記シタル如ク太重且公然ノ事ニ非サル誣害ハ註誤ノ刑ノミヲ以テ罰セララル可シ

第三百七十七條 廢ス

第三百七十八條 内科外科ノ醫官及ヒ海陸軍醫士又ハ販藥者、産婆及ヒ其他自己ノ職業又ハ其身位等ニ因リ人ヨリ密事ノ托ヲ受タル者ノ法律ニ循ヒ其密事ヲ呈訴ス可キ場合外ニ於テ其密事ヲ告發セシ者ハ一月ヨリ少カラス六月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處

セラレ且百フランクヨリ少カラス五百フランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ

○第二章 財産ニ對シタル輕罪及ヒ重

罪 千八百十年第二月十九日決定第三月一日布告

○第一款 盜

第三百七十九條 己ニ屬セサル物ヲ盜ミシ罪ヲ名ケテ盜罪ト云

第三百八十條 夫ノ其婦ノ物ヲ盜ミ及ヒ婦ノ其夫ノ物ヲ盜ミ又ハ寡婦及ヒ鰥夫ノ中ニ於テ互ニ其死者ノ物ヲ盜ミ又ハ子及ヒ卑屬ノ

親ノ其父母及ヒ尊屬ノ親ニ屬スル物ヲ盜ミ又ハ父母及ヒ尊屬ノ親ノ其子及ヒ卑屬ノ親ニ屬スル物ヲ盜ミ又ハ同級ノ親ニ於テ互ニ相盜ミシ等ノ事ニ於テハ民法ニ循ヒ償還ヲ為スノミトス
其他ノ者ニ於テ其盜ミシ物ノ全部又ハ一部ヲ隱藏シ及ヒ己ノ利益ト為タル者ハ盜罪アリトシテ罰ヲ受ク可シ

第三百八十一條

第一 夜間盜ヲ為シ

第二 二人以上ニテ盜ヲ為シ

第三 盜者又ハ其中ノ一人ニ於テ分明ノ兵器及ヒ暗藏ノ兵器等ヲ弄シ

第四 其兵器ヲ弄シタル盜者ノ人ノ居住シ及ヒ居住ス可キ家屋又ハ房室及ヒ其房室ニ屬スル房舎等ノ外部ヲ破壊攀援シ及ヒ偽鑰ヲ用ヒテ其罪ヲ犯シ又ハ長官及ヒ文武官吏等ノ名稱ヲ詭リ或ハ長官及ヒ官吏等ノ衣服ヲ僭用シ或ハ文武官吏ノ命ヲ偽リ其罪ヲ

犯シ

第五 暴行ヲ為シ又ハ兵器ヲ用ヒント脅迫シテ其罪ヲ犯シ

此五箇ノ所行ヲ連帶シテ盜罪ヲ犯シタル各人ハ無期ノ徒刑ニ處セララル可シ

第三百八十二條

千八百六十三年第五
月十三日如左換フ

暴行ヲ

以テ盜罪ヲ犯シタル者ハ有期ノ徒刑ニ處セララル可シ○若シ其犯罪ノ時ニ於テ行フタル暴行ニ因リ人ニ斫痕、傷痕等ヲ遺シタル者ハ此所行ノミヲ以テ其犯人ヲ無期ノ徒刑ニ處

ス可シ

第三百八十三條 第三百八十一條ニ記シタル
 五箇ノ所行中ノ其二箇ヲ行ヒ街衢ニ於テ盜
 罪ヲ犯シタル者ハ無期ノ徒刑ニ處セラル可
 シ
 若シ第三百八十一條ニ記シタル五箇ノ所行
 中ノ其一箇ヲ行ヒ街衢ニ於テ盜罪ヲ犯シタ
 ル者ハ有期ノ徒刑ニ處セラル可シ
 其他ノ場合ニ於テハ其犯人ヲ徒刑場内ニ於
 テ驅役スル刑ニ處ス可シ

第三百八十四條 第三百八十一條ノ第四項ニ
 記シタル手段ノ一箇ヲ以テ盜罪ヲ犯シタル
 者ハ人ノ住居スルニ用アル事ナク且人ノ住
 居スル家屋ニ屬セシモノニ非サル建造物園
 庭繞圍等ヲ破壞攀援シ又ハ偽鑰ヲ用ヒテ潛
 入シ又ハ唯其破壞ノ所為ヲ家屋ノ内部ノミ
 ニ行ヒシ等ノ時ト雖凡其犯人ニ於テ有期ノ
 徒刑ニ處セラル可シ

第三百八十五條

千八百六十三年第五
月十三日如左換フ

第一 夜間盜罪ヲ犯シ

第二 一人ノ居住スル家屋又ハ佛蘭西國中ニ於テ法律ニ循ヒ准定セシ禮拜ノ為メ設ケタル建造物等ニ於テ盜罪ヲ犯シ

第三 二人以上ニテ此盜罪ヲ犯シ且其犯人中ノ一人ニ於テ分明ノ兵器及ヒ暗藏ノ兵器等ヲ弄シ

此三箇ノ所行中ノ其二箇ヲ行フテ盜罪ヲ犯シタル者ハ有期ノ徒刑ニ處セララル可シ

第三百八十六條

第一 夜間二人以上ニテ盜罪ヲ犯シ又ハ夜間一人及ヒ晝間二人以上等ニテ人ノ居住シ及ヒ居住ニ用フ可キ家屋又ハ佛蘭西國中ニ於テ法律ニ循ヒ准定セシ禮拜ノ為メ設ケタル建造物等ニ於テ盜罪ヲ犯セシ時

第二 盜罪ヲ犯セシ場所ノ人ノ居住シ及ヒ居住ニ用フ可キ家屋ニ非ズシテ且晝間一人ニテ盜ヲ為シタル時ト雖其犯人ニ於テ分明ノ兵器及ヒ暗藏

ノ兵器等ヲ弄セシ時

第三 奴僕及ヒ其他雇直ヲ與ヘ使役スル者等ニ於テ縱令ヒ其主ニ對シ盜罪ヲ犯スニ非スト雖モ其主家ニ在ル者及ヒ其主ニ隨行シテ至リシ家ニ居ル者等ニ對シ盜罪ヲ犯セシ時又ハ主ノ家屋製造所及ヒ倉庫等ニ居住スル工丁及ヒ期限ヲ定メ使役ヲ受ル僮奴等ニ於テ盜罪ヲ犯シ又ハ操作ヲ為ス者ニ於テ平生操作ヲ為ス家屋ニ於テ盜

罪ヲ犯セシ時

第四 旅舎ノ主人、御者、舟師及ヒ其代人等ニ於テ其職業ニツキ委託ヲ受ケシ物ノ全部又ハ一部ヲ盜ニシ時

此等ノ場合ニ於テハ其犯人ヲ徒刑場内ニ於テ驅役スル刑ニ處ス可シ

第三百八十七條

千八百六十三年第五月十三日如左換フ

御者、舟

師及ヒ其代人等ノ搬運ノ任ヲ受タル葡萄酒及ヒ其他ノ流動物又ハ商品等ヲ詭換シ及ヒ詭換セント為シ且人害トナル可キ物ヲ混合

シ又ハ混合セント為シテ其詭換ヲ行ヒ又ハ
 行ハント為タル者ハ二年ヨリ少カラス五年
 ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且
 二十五フランクヨリ少カラス五百フランク
 ヨリ多カラザル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ
 又其犯人ハ五年ヨリ少カラス十年ヨリ多カ
 ラサル時間第四十二條ニ記シタル民權ヲ行
 フノ禁ヲ受ケ且同上ノ期限間裁判所ノ命ヲ
 以テ政府ノ監察ヲ受ク可シ
 若シ人害トナル可キ物ヲ混合セサル時ハ一

月ヨリ少カラス一年ヨリ多カラサル時間禁
 錮ノ刑ニ處セラレ且十六フランクヨリ少カ
 ラス百フランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡
 ヲ受ク可シ

第三百八十八條 田野ニ於テ物ヲ負載セシメ
 又ハ車ヲ挽カシメ或ハ騎行ニ用フル馬及ヒ
 其他ノ獸類又ハ大小ノ家畜獸及ヒ耕作ノ器
 具等ヲ盜ミ又ハ盜マント為タル者ハ一年ヨ
 リ少カラス五年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ
 刑ニ處セラレ且十六フランクヨリ少カラス

五百フランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ

賣鬻ス可キ木材及ヒ石礦ニアル石又ハ池沼ニ養フ魚等ヲ盗ミシ者ハ同上ノ刑ニ處セラ

ル可シ
田野ニ於テ既ニ地ヨリ刈收セシ穀類及ヒ其他要用ノ產物又ハ堆積シタル刈收セシ穀類草類等ヲ盗ミ及ヒ盗マント為タル者ハ十五日ヨリ少カラス二年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且十六フランクヨリ少カラ

ス二百フランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ

馬車及ヒ物ヲ負載セシムル獸類等用ヒ又ハ夜間及ヒ晝間等ヲ論セス數人ニ於テ前文ニ記シタル盜罪ヲ犯セシ者ハ一年ヨリ少カラス五年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且十六フランクヨリ少カラス五百フランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ
未タ地ヨリ刈收セサル穀類及ヒ其他ノ地ヨリ生シタル要用ノ產物等ヲ籃囊及ヒ其他ノ

器具又ハ馬車及ヒ物ヲ負載セシムル獸類等
 ヲ用ヒ又ハ夜間及ヒ晝間等ヲ論セス數人ニ
 於テ此盜罪ヲ犯シ及ヒ犯サント為タル者ハ
 十五日ヨリ少カラス二年ヨリ多カラサル時
 間禁錮ノ刑ニ處セラレ且十六フランクヨリ
 少カラス二百フランクヨリ多カラサル罰金
 ノ言渡ヲ受ク可シ
 此一條ニ記ルシタル何ノ場合ニ於テモ其犯
 人ハ前文ニ記セシ刑ノ外其刑ヲ受ケシ日ヨ
 リシテ五年ヨリ少カラス十年ヨリ多カラサ

ル時間第四十二條ニ記ルシタル民權ノ全部
 又ハ一部ヲ行フノ禁ヲ受ケ且裁判所ノ命ヲ
 以テ同上ノ期限間政府ノ監察ヲ受クル附加
 ノ刑ニ處セララル可シ

第三百八十九條

千八百六十三年第五
 月十三日如左換フ

盜罪ヲ

犯ス可キ為メ田間ノ經界ヲナス塀牆ヲ除去
 シ及ヒ除去セント為タル者ハ二年ヨリ少カ
 ラス五年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處
 セラレ且十六フランクヨリ少カラス五百フ
 ランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可

又其犯人ハ其刑ヲ受ケシ日ヨリシテ五年ヨリ少カラス十年ヨリ多カラサル時間第四十二條ニ記シタル民權ヲ行フノ禁ヲ受ケ且裁判所ノ命ヲ以テ同上ノ期限間政府ノ監察ヲ受ク可シ

第三百九十條 人ノ居住スル家屋トハ現ニ人ノ居住スルニ非スト雖凡人ノ居住ス可キ為メ建設シタル諸般ノ家屋、厩舎又ハ搬運ヲ為ス可キモノト雖凡人ノ居住ス可キ小舎及ヒ

其用法ヲ問ハス大ナル塀牆内ニ更ニ牆塀ヲ以テ圍繞シタルモノト雖凡厩舎又ハ穀類及ヒ耕作ノ器具類等ヲ藏スル小舎又ハ鷄、鶩ノ類ヲ蓄ヒ置ク小舎又ハ馬房及ヒ其他ノ建造物等ノ如ク人ノ居住ス可キ家屋ニ附加ス可キ建造物等ヲ指シ云

第三百九十一條 繞圍ヲ設ケシ地トハ溝渠又ハ杙、板、植籬、編牆及ヒ其他何物ヲ論セス總テ塀牆ト為ス可キ物等ヲ用ヒ圍繞セシ地ノ其塀牆、溝渠ノ高深、舊壞等ヲ問ハス且鑰及ヒ其

他ノ方法等ヲ以テ閉閉スルヲ用ヒス又ハ透觀ス可キ門扉ヲ設ケタル地或ハ平生其門戸ヲ洞開セシ地等ヲ指シ云

第三百九十二條 造營ニ用ヒタル品物ノ如何ナルヲ問ハス田野ニ於テ獸類ヲ入置ク為メ設ケタル搬運ヲ為ス可キ欄圍モ亦名テ繞圍ヲ設ケシ地ト云フ但シ其獸類ノ看守人ノ為メ設ケタル搬運ヲ為ス可キ小舎及ヒ其他看守人ノ為メ風雨ヲ蔽フ可キ小舎等ニ屬スル時ハ之ヲ人ノ居住スル家屋ニ屬ヒシ物ナリ

ト云

第三百九十三條 塀牆瓦板門牕鎖吊鎖及ヒ其他何物ヲ問ハス人ノ行路ヲ鎖閉シ及ヒ防護ス可キ為メ設ケタル器具及ヒ諸般ノ圍繞等ヲ強テ扭開シ又ハ毀壞シ及ヒ除去スル等ノ事ヲ稱シテ破壞ト云

第三百九十四條 破壞ヲ分テ二種トス一ヲ外部ノ破壞トシ一ヲ内部ノ破壞トス

第三百九十五條 外部ノ破壞トハ家屋及ヒ家屋ニ屬スル解舎又ハ穀類及ヒ耕作ノ器具類

等ヲ藏スル小舎又ハ鷄鴿等ノ類ヲ蓄ヒ置ク
小舎其他繞圍ヲ設ケタル場所或ハ家屋ニ屬
シタル場所又ハ房室等ニ入ラントシテ為タ
ル破壊ヲ云

第三百九十六條 内部ノ破壊トハ前條ニ記シ
タル場所ニ入りタル後其内部ニアル門戸塀
牆又ハ板厨^{トダ}及ヒ其他總テ鎖ヲ施シタル家具
等ニ為シタル破壊ヲ云フ

何物ヲ論セズ總テ財産ヲ入レタル箱匣^{ハコ}箆^ヒ櫃^ツ
又ハ繫住^ルシタル行李及ヒ其他繫ク掩蓋^{カシ}シタ

ル家具類等ヲ犯人ノ入りシ場所ニ於テ破毀
スルヲナク其儘ヲ用ヒ奪ヒ去ルト雖^レ亦内
部ノ破壊ト云

第三百九十七條 塀牆門戸屋蓋及ヒ其他ノ繞
圍等ヲ越テ家屋及ヒ家屋ニ屬スル建造物廨
舎或ハ穀類及ヒ耕作ノ器具類等ヲ藏スル小
舎又ハ鷄鴿ノ類ヲ蓄ヒ置ク小舎又ハ其他諸
般ノ建造物園庭及ヒ圍繞ヲ為タル地等ニ入
ルヲ名ケテ攀援ト云
出入ノ為メ設ケシヒノニ非サル地道ヨリ潜

入シタルハ攀援ト同罪ナリトス

第三百九十八條 偽造變造等ノ搭鑰及ヒ偽鑰

又ハ家屋ノ所有者及ヒ借受人、旅舎ノ主人及

ヒ旅舎ニ宿スル者等ノ鎖、弔鎖及ヒ其他鎖閉

セシ物ヲ開クニ用フ可キ為メ設ケタル物等

ニ非サル鑰及ヒ搭鑰等ヲ名ケテ贋造ノ鑰ト

ス

第三百九十九條

千八百六十三年第五
月十三日如左換フ 鑰ヲ贋

造シ及ヒ變造シタル者ハ三月ヨリ少カラス

二年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラ

レ且二十五フランクヨリ少カラス百五十フ

ランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可

シ若シ其犯人ニ於テ鑰ノ製造ヲ以テ業ト為

ス時ハ二年ヨリ少カラス五年ヨリ多カラサ

ル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且五十フランク

ヨリ少カラス五百フランクヨリ多カラサル

罰金ノ言渡ヲ受ク可シ

又其犯人ハ其刑ヲ受ケシ日ヨリシテ五年ヨ

リ少カラス十年ヨリ多カラサル時間第四十

二條ニ記シタル民權ノ全部ヲ行フノ禁ヲ受

ケ且裁判所ノ命ヲ以テ同上ノ期限間政府ノ
監察ヲ受ク可シ

但シ此規則ト他ノ重罪ヲ犯セシ時更ニ重刑
ニ處セラルル可キ規則ト相抵觸スルコトナカル
可シ

第四百條

千八百六十三年第五
月十三日如左換ノ

強逼、暴行等ヲ

以テ金銀、^{ハラビ}算還ノ契約及ヒ品物ヲ交付ス可キ
契約等ノ事ヲ記シタル書類、證券等ニ姓名ヲ
署セシメシ者又ハ其證書、證券等ヲ交付セシ
メタル者等ハ有期ノ徒刑ニ處セラルル可シ

文書及ヒ言詞等ヲ以テ人ヲ脅迫シ又ハ人ノ
名望ヲ辱ム可キ告發及ヒ罵詈等ヲ為シテ金
額ヲ交付セシメシ者又ハ前文ニ記シタル書
類、證券等ニ姓名ヲ署セシメ又其書類、證券等
ヲ交付セシメシ者等ハ一年ヨリ少カラス五
年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ
且五十フランクヨリ少カラス三千フランク
ヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ
負債ノ為メ自己ニ於テ討還ヲ受ク可キ品物
ヲ其管守中ニ亡失シ及ヒ竊取シ又ハ亡失及

と竊取セント為タル者ハ第四百六條ニ記ス
 ル所ノ刑ニ處セラル可シ
 若シ負債抵當トシテ交付ス可キ品物ヲ他人
 ニ托シタル時其品物ヲ亡失シ及ヒ竊取シ又
 ハ亡失及ヒ竊取セント為タル者ハ第四百一
 條ニ記スル所ノ刑ニ處セラル可シ
 負債者又ハ他人ノ負債ノ保證ヲ為ス者等ノ
 其證トシテ附與シタル品物ヲ亡失シ及ヒ竊
 取シ又ハ亡失及ヒ竊取セント為シタル者ハ
 亦第四百一條ニ記スル所ノ刑ニ處セラル可

故意ヲ以テ竊取シタル物ヲ隠藏セシ者或ハ
 負債者又ハ負債ノ保證者等ノ夫又ハ婦及ヒ
 其尊屬ノ親又ハ卑屬ノ親ニ於テ其負債者又
 ハ負債ノ保證者等ノ證トシテ附與シタル品
 物ヲ亡失シ及ヒ竊取シ又ハ亡失及ヒ竊取セ
 ント為シタルヲ助ケシ者ハ犯人ト同刑ニ處
 セラル可シ

第四百一條 前條ニ記サル欺罔ヲ以テ行フ
 タル盜罪ヲ犯セシ者及ヒ犯サント為タル者等

ハ一年ヨリ少カラス五年ヨリ多カラサル時
 間禁錮ノ刑ニ處セラレ且十六フランクヨリ
 少カラス五百フランクヨリ多カラサル罰金
 ノ言渡ヲ受ク可シ
 又其犯人ハ其刑ヲ受シ日ヨリシテ五年ヨリ
 少カラス十年ヨリ多カラサル時間第四十二
 條ニ記シタル民權ヲ行フノ禁ヲ受ク可シ
 且其犯人ハ裁判所ノ命ヲ以テ同上ノ期限間
 政府ノ監察ヲ受ク可シ

大寫字生辻士革筆受

佛蘭西刑法四終
法律書

